

一般入学者選抜[第I期]のための学力検査の概要  
各教科の出題のねらい、結果の概要、応答率

# 1 国語

## (1) 出題のねらい

### ア 全般的なねらい

思考力、判断力、想像力を働かせて国語を正確に理解し適切に表現する力をみるために、基礎的・基本的事項を中心として幅広く出題した。

### イ 問いごとのねらい

- 1 文学的な文章によって、漢字を読むこと、四字熟語の知識などの基礎的事項、表現技法とその効果に関する理解の程度をみる。また、文章の展開に即して理解したことを適切に表現する力をみる。
- 2 和歌の表現技法について解説した文章によって、古典における基礎的事項、文脈の中における語句の意味や表現に関する理解の程度をみる。また、文章の展開に即して理解したことを整理し、適切にまとめる力をみる。
- 3 説明的な文章によって、漢字を書くこと、単語の類別などの基礎的事項、文章全体と部分との関係、構成や展開の特徴に関する理解の程度をみる。また、文章の展開に即して理解したことを適切に表現する力をみる。
- 4 カタカナ語についての中学生の話し合いとそこで用いられた資料によって、日本語の語種についての知識、話し合いの話題や方向をとらえて的確に話すことに関する理解の程度をみる。また、複数の資料を読み、条件に従って話し合いの一部を書くことによって、目的に応じて必要な情報を読み取り、適切に表現する力をみる。

## (2) 結果の概要

漢字の読み書きや四字熟語、古典の知識などの国語の基礎的な力をみる設問は、おおむね正答率が高かった。また、文学的文章において、二人の登場人物の様子からその心情を読み取り、適切なものを選択する問題も正答率が高かった。

自動詞と他動詞の類別に関する設問で、正答率が低かった。また、説明的文章において、思考力や判断力などを働かせて、文章中の語句を適切に引用したり、読み取った内容について文章中の語句を使って適切にまとめたりする設問で、正答率が低いもの、無答率の高いものがあった。話し合いにおける中学生のそれぞれの発言の特徴を選択肢から解答する問題は正答率が低かったが、資料の情報を読み取って発言の一部を適切に書く問題の部分点率は高かった。

### (3) 応答率

大問	小問	正答例	配点例 (点)	形式		応答率 (%)							
				選択	短記述	正答としたもの		部分点を与えたもの		誤答としたもの		無答	
1	①㉔	と(げて)	1		○	99.0		0.0		1.0		0.0	
	①㉕	あいまい	1		○	97.5		0.0		1.5		1.0	
	②	ウ	2	○		64.5		0.0		35.0		0.5	
	③X	イ	2	○		67.0		0.0		32.5		0.5	
	③Y	バレーがやりたくてたまらない	2		○	73.5		2.5		16.5		7.5	
	④	ウ	4	○		79.0		0.0		20.5		0.5	
	⑤	本気でバレーと向き合っている自分のまっすぐな言葉は灰島の心に届くはずだ	5		○	10.5		45.5		21.5		22.5	
2	①	おもう	1		○	99.0		0.0		1.0		0.0	
	②	イ	2	○		49.0		0.0		50.5		0.5	
	③ I	来	2		○	96.5		0.0		3.0		0.5	
	③ II	連想関係	2		○	44.0		0.0		52.0		4.0	
	③ III	身になじんだ	2		○	42.5		0.0		45.0		12.5	
	③ IV	都の妻を思い浮かべる	4		○	11.0		51.5		15.5		22.0	
3	①㉔	芽(生える)	1		○	92.5		0.0		5.5		2.0	
	①㉕	評価	2		○	73.0		9.0		14.5		3.5	
	②	ア	2	○		15.5		0.0		84.5		0.0	
	③	イ	4	○		71.5		0.0		28.0		0.5	
	④	総体としての自分	2		○	43.5		0.5		40.5		15.5	
	⑤X	そのまま受け入れ	2		○	45.5		0.0		16.5		38.0	
	⑤Y	いろんな他者との交流によって、自分自身を常に多様な視点からとらえ直そうとしていく	6		○	2.5		46.5		16.5		34.5	
4	①	和語	2		○	46.5		0.0		45.5		8.0	
	②	ア	2	○		60.5		0.0		39.0		0.5	
	③	ウ オ	2	○		36.5		0.0		60.0		3.5	
	④	どちらのことばを主に使うかの割合は年代によって異なる。だから、カタカナ語を使うときは、それが相手の年代にとってなじみのあることばなのかどうかに留意する必要がある(ということかな。)	8		○	14.0		53.0		20.0		13.0	

## 2 社会

### (1) 出題のねらい

#### ア 全般的なねらい

地理・歴史・公民の各分野にわたって、基礎的・基本的な知識と技能の習得の程度をみるとともに、社会的事象を多面的・多角的に考察する力、その結果を表現する力をみるために幅広く出題した。

#### イ 問いごとのねらい

- ① 近畿地方に関する地図や統計資料などを素材として、我が国の国土や産業の特色などについて、知識・技能の習得の程度をみるとともに、我が国の産業の変化について適切に表現する力をみる。
- ② 食品廃棄の問題に関する調べ学習を通して、国際社会の諸課題、市場経済の基本的な考え方、消費者主権などについて、知識の習得の程度をみるとともに、グラフや資料からの確に情報を読み取る力をみる。
- ③ 元号（年号）を主題とする調べ学習を通して、古代から近世までの我が国の政治の展開などについて、知識の習得の程度をみるとともに、武家政権の支配の構造について適切に表現する力をみる。
- ④ 世界地図を素材として、緯度と経度、気候、宗教などについて、知識・技能の習得の程度をみるとともに、グラフから適切に情報を読み取り判断する力をみる。
- ⑤ 近現代の貨幣に関する学習成果の発表資料を通して、近現代の我が国の政治や経済の展開などについて、知識の習得の程度をみるとともに、金融の仕組みや戦時下の社会について適切に表現する力をみる。

### (2) 結果の概要

基礎的・基本的な知識の習得の程度をみる設問で正答率がおおむね高く、グラフや表から情報を読み取る力をみる設問でも正答率が伸びた。また、記述する設問での無答率は低く、問題に取り組もうとする姿勢がうかがえた。

一方で、見え方の異なる複数の地図を組み合わせた設問や、経済に関するグラフを用いた設問、金融の仕組みについて説明する設問において正答率が低かった。また、分野としては歴史的分野の正答率が伸びず、特に、歴史の大きな流れをとらえることや世界の動きについての理解に課題がみられた。

(3) 応答率

大問	小問	正 答 例	配点例 (点)	形式			応 答 率 (%)							
				選 択	短 答	記 述	正答としたもの		部分点を 与えたもの		誤答としたもの		無 答	
1	①	エ	2	○			70.0		0.0		30.0		0.0	
	②	イ	3	○			61.5		0.0		38.5		0.0	
	③	ウ	2	○			82.5		0.0		16.5		1.0	
	④(1)	ア	2	○			52.0		0.0		48.0		0.0	
	④(2)	工場を海外にもつくて、製 品の現地生産をすすめる	3			○	45.0		4.0		47.0		4.0	
2	①	南南問題	3	○			51.5		0.0		41.0		7.5	
	②	化石燃料	2	○			64.0		0.0		33.5		2.5	
	③	(需要曲線) A (価格) C	3	○			46.0		0.0		54.0		0.0	
	④	エ	3	○			64.0		0.0		35.5		0.5	
	⑤	賞味期限が近い商品	2			○	68.5		10.5		19.0		2.0	
3	①	唐	2	○			64.5		0.5		31.0		4.0	
	②	エ	2	○			56.5		0.0		43.0		0.5	
	③(1)	御家人に新たな領地をあたえる などの御恩をほどこし、御家人 は戦いのときに軍役を果たすな どの奉公にはげんだ。	4			○	41.5		30.5		19.5		8.5	
	③(2)	イ→エ→ウ→ア	3	○			45.5		0.0		54.5		0.0	
	④	ア	2	○			47.5		0.0		52.5		0.0	
4	①	エ	2	○			43.0		0.0		57.0		0.0	
	②	ウ	2	○			55.5		0.0		44.0		0.5	
	③	イ	3	○			65.0		0.0		35.0		0.0	
	④(1)	ヒンドゥー教	2	○			81.5		3.0		15.5		0.0	
	④(2)	ウ	3	○			56.0		0.0		44.0		0.0	
5	①	中央銀行	2	○			47.0		0.0		50.0		3.0	
	②	株式や債券を発行して、出資 者から直接資金を調達する こと。	3			○	16.5		7.0		65.0		11.5	
	③	ア	3	○			43.5		0.0		56.0		0.5	
	④	富国強兵	2	○			65.5		0.0		24.5		10.0	
	⑤	イ	2	○			43.0		0.0		56.5		0.5	
	⑥	武器をつくるための金属が不 足した	3			○	43.0		24.5		28.0		4.5	
	⑦	ウ	2	○			58.0		0.0		42.0		0.0	
	⑧	クレジット	3	○			78.0		0.5		19.5		2.0	

## 3 数 学

### (1) 出題のねらい

#### ア 全般的なねらい

数量や図形などに関する基礎的・基本的な概念や原理・法則についての理解の程度と、数学的な表現や処理の仕方に基づいて、事象を数理的に考察し表現する力や、それらを思考・判断し活用する力をみるために、各領域から幅広く出題した。

#### イ 問いごとのねらい

- 1 式を展開する、二次方程式を解く、度数分布表から代表値を求めるなど、基礎的・基本的な内容の知識・理解の程度をみる。
- 2 2種類のボールの個数を調べる方法について考察する場面を素材として、標本調査、連立方程式についての知識・理解の程度や事象を数理的に考察し活用する力をみる。
- 3 関数の式とグラフを関連付けて考察したり、問題を解決したりする力をみる。
- 4 身の回りにある建物の高さ制限について考える場面を素材として、基本的な作図や図形的・関数的な処理などの、既習の数学を基にして、数や図形の性質などを見だし、発展的に処理する力をみる。
- 5 平行四辺形を基本とする図形の特徴を的確にとらえ、それらを利用して思考する過程を表現したり、問題を解決したりする力をみる。

### (2) 結果の概要

各領域における基礎的・基本的な力をみる設問、連立方程式などの事象を数理的に考察し活用する設問、垂線を作図する設問では正答率が高かった。

三角形の相似を証明する設問では正答率は低かったが、部分点率は高かった。

問題解決の方法を数学的に説明する設問や図形の特徴を的確にとらえ解決する設問では正答率が低いものもあった。



## 4 理科

### (1) 出題のねらい

#### ア 全般的なねらい

自然の事物・現象に関する基礎的・基本的な概念や原理・法則についての知識・理解の程度と、観察・実験などを通しての科学的な思考力、判断力、表現力等をみるために、第1分野、第2分野にわたって幅広く出題した。

#### イ 問いごとのねらい

- 1 オリンピックにふれた日常の会話を素材として、物体のエネルギーや日本の気象などについての知識・理解の程度をみるとともに、身近な事物・現象について科学的に思考する力をみる。
- 2 電気について調べて実験したときのメモを素材として、電磁誘導やグラフについての知識・理解の程度をみるとともに、電力について科学的に思考する力や判断する力をみる。
- 3 地球と小惑星についてわかったこととの比較を通して、大地の成り立ちについての知識・理解の程度をみるとともに、日本付近で起こる地震の仕組みについて科学的に表現する力をみる。
- 4 水素と酸素を用いた燃料電池の実験を素材として、水素の発生や試薬の扱いなどの実験操作についての知識・理解の程度をみるとともに、化学変化の規則性について科学的に表現する力をみる。
- 5 消化の仕組みについての探究活動を通して、消化酵素のはたらきや特徴についての知識・理解の程度をみるとともに、実験結果をもとに科学的に考察する力をみる。

### (2) 結果の概要

自然の事物・現象に関する基礎的・基本的な知識・理解の程度をみる設問では、全般的に正答率が高かった。

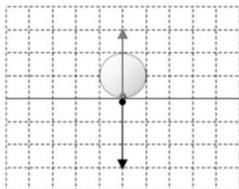
グラフや図で表現する設問や計算を必要とする設問、科学的な視点で説明する設問では、正答率が低く、無答率がやや高いものもあったが、全体的には無答率は低く、問題に取り組もうという姿勢がみられた。



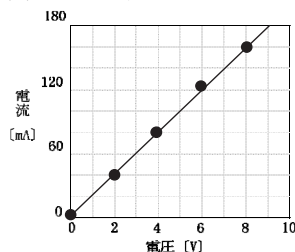
### (3) 応答率

大問	小問	正答例	配点例 (点)	形式		応答率 (%)				
				選択	短記述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無答	
1	①	小笠原	2	○		79.5		2.0	18.5	0.0
	②	$\text{NaCl} \rightarrow \text{Na}^+ + \text{Cl}^-$	2	○		55.5		1.5	31.5	11.5
	③	ア	2	○		74.5		0.0	25.0	0.5
	④(1)	※作図	2		○	30.0		7.5	62.0	0.5
	④(2)	(A) ア (B) ウ	2	○		90.0		6.0	4.0	0.0
	⑤	側根	2	○		81.0		0.5	18.0	0.5
	⑥	エ	2	○		85.0		0.0	15.0	0.0
2	①(1)	電磁誘導	2	○		70.5		4.5	23.0	2.0
	①(2)	エ	2	○		34.0		0.0	66.0	0.0
	①(3)	(X) イ (Y) イ	2	○		54.5		17.5	27.5	0.5
	①(4)	棒磁石をより速く動かす。	2		○	64.5		1.0	27.5	7.0
	②(1)	※グラフ	3		○	62.0		25.0	12.0	1.0
	②(2)	イ ウ ア	2	○		21.5		0.0	77.5	1.0
	③	9300	2	○		59.5		0.0	36.0	4.5
3	①	衛星	2	○		73.5		2.0	21.5	3.0
	②	イ	2	○		65.5		0.0	34.5	0.0
	③	※説明記述	3		○	28.0		27.0	42.5	2.5
	④	斑晶	2	○		57.5		4.0	31.0	7.5
	⑤	エ	2	○		35.5		0.0	64.5	0.0
	⑥	オ	2	○		39.0		0.0	61.0	0.0
	⑦	ウ → イ → ア	2	○		47.0		0.0	52.5	0.5
4	①	(あ) ウ (い) オ	2	○		49.0		0.0	51.0	0.0
	②(1)	液体 ウ 気体 イ	2	○		84.5		2.5	13.0	0.0
	②(2)	同じ質量の場合、液体にすると気体よりも体積が小さくなるので、より多くの量を貯蔵できる。	3		○	43.0		10.5	36.0	10.5
	③(1)	電流を流しやすく	2		○	69.0		9.5	17.5	4.0
	③(2)	300	2	○		33.5		0.0	55.5	11.0
	④	イ	2	○		51.0		0.0	48.5	0.5
	5	①	ア オ	2	○		58.5		0.0	41.0
②		ウ	2	○		65.0		0.0	34.5	0.5
③		トリプシン	2	○		23.5		0.0	73.0	3.5
④		分解できる食品の主成分が決まっている	2		○	49.5		3.0	38.0	9.5
⑤		表面積が大きくなるから。	3		○	75.0		1.0	18.0	6.0
⑥		ウ	2	○		48.5		0.0	49.0	2.5

1 ④(1) ※作図



2 ②(1) ※グラフ



3 ③ ※説明記述

大陸プレートの下に海洋プレートがもぐりこむ。その後、引きずりこまれた大陸プレートの先端が、急激に隆起してもとに戻ることで地震が起こる。

## 5 英語

### (1) 出題のねらい

#### ア 全般的なねらい

思考力や判断力を働かせて英語を理解し、適切に表現する力をみるために、基礎的・基本的事項を中心として、英語の言語活動の全領域にわたって幅広く出題した。

#### イ 問いごとのねらい

- ① 英語による会話やまとまりのある英語を聞いて、内容を正しく聞き取る力、必要な情報を正確に書き取る力、適切に応答する力をみる。また、メッセージを完成させることによって、大切な部分を的確に聞き取って表現する力をみる。
- ② 英語による発表に用いるスライド資料と原稿によって、英語の内容を読み取る力、英文と資料を関連させて適切な情報を選択する力、適切に英語で表現する力をみる。
- ③ 会話と英語で書かれたメッセージカードの内容から、与えられた情報を整理して適切に英語で表現する力をみる。
- ④ プラスチックゴミについての話し合いとそれを聞いた生徒のメモや感想から、英語の内容を正確に理解する力、要点を読み取る力をみる。さらに、思考力や判断力を働かせて、理解した内容を整理して適切に英語で表現する力をみる。
- ⑤ まとまりのある英語の文章から、筆者が伝えようとしている内容を正確に読み取る力、思考力や判断力を働かせて文脈から読み取った内容をもとに、適切に英語で表現する力をみる。

### (2) 結果の概要

英語による短い会話やまとまりのある英語を聞いて、内容を正しく聞き取る力や適切に応答する力をみる設問の正答率は高かった。また、発表に用いるスライド資料と英文原稿を素材とした、英語の内容を読み取る力をみる設問や、英文と資料を関連させて適切な情報を選択する設問の正答率も高かった。

会話とメッセージカードの内容から、与えられた情報を整理して適切に英語で表現する力をみる設問では正答率が低かった。また、スピーチの大切な部分を的確に聞き取ってその内容を別の英語で表現する力をみる設問や、文脈から読み取った内容をもとに、思考力や判断力を働かせて適切に英語で表現する力をみる設問の中にも正答率が低いものがあった。

(3) 応答率

大問	小問	正答例	配点例 (点)	形式			応答率 (%)					
				選択	短答	記述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無答		
1	A(1)	エ	2	○		97.5		0.0		2.5		0.0
	A(2)	ウ	2	○		54.5		0.0		45.5		0.0
	B(あ)	garden	2		○	72.5		2.0		21.0		4.5
	B(い)	dance	2		○	33.0		0.0		53.5		13.5
	C(1)	イ	2	○		83.5		0.0		16.5		0.0
	C(2)	ウ	2	○		64.5		0.0		35.5		0.0
	D(1)(あ)	brother	2		○	61.0		0.0		23.0		16.0
	D(1)(い)	foreign	2		○	7.0		0.0		75.0		18.0
	D(1)(う)	help	2		○	28.5		0.0		50.5		21.0
	D(2)	ア	2	○		76.5		0.0		23.5		0.0
2	①	ア	3	○		82.0		0.0		18.0		0.0
	②	First	3		○	56.0		5.5		31.5		7.0
	③	エ	3	○		59.0		0.0		41.0		0.0
	④	イ	3	○		76.5		0.0		23.0		0.5
3	①	call it Dorayaki in	3		○	38.0		15.0		43.0		4.0
	②	learn how to cook	3		○	29.0		6.5		53.5		11.0
4	①	went	2		○	75.5		0.0		24.0		0.5
	②	ask their customers to bring and use	3		○	34.5		4.0		61.0		0.5
	③	ウ	3	○		63.5		0.0		35.5		1.0
	④	eaten	2		○	23.0		0.0		67.0		10.0
	⑤	イ	2	○		48.0		0.0		50.5		1.5
	⑥	done useful things	3		○	7.0		6.5		47.0		39.5
5	①	イ	2	○		82.5		0.0		17.5		0.0
	②	ア	3	○		77.5		0.0		21.5		1.0
	③(1)	本を借りる	2		○	48.0		9.0		31.0		12.0
	③(2)	注意深く扱う	2		○	53.0		2.5		28.5		16.0
	④	talking	2		○	5.0		1.5		76.5		17.0
	⑤	reading books is as good	3		○	1.0		1.0		40.0		58.0
	⑥	ア オ	3	○		34.2		0.0		62.3		3.5